奈 良 市×デザイン経営

Fact

人口
約**35**万人

世帯数
約**16**万世帯

事業所数
約**14,000**

中核市

TURNING POINT①

新型コロナウイルス感染症拡大

これまで行ってきた物産展事業や、各種イベントを実施する団体への支援を中止せざるを得なくなり、事業者支援策の『**変革**』が必要となった。

令和２年度までの支援事業は、中心市街地でのイベントや商品のＰＲ事業を主軸にしており、『**事業レベルの支援策**』が多い状態であった。

≪令和２年度までの事業者支援策≫

既存事業者支援	・中小企業にぎわい振興補助金	ＰＲ
	・中小企業振興施設設置補助金	施設整備
	・中心市街地活性化団体補助金	ＰＲ
	・A団体補助金	ＰＲ
	・B団体補助金	ＰＲ
	・伝統工芸後継者育成補助金	人材育成
	・融資保証料補助金	財務
地方創生臨時交付金	・感染拡大防止協力金	その他
	・プレミアム付商品券発行事業	ＰＲ
	・テイクアウト事業者販売機会拡大	販路
	・デリバリーサービス参入支援	販路
	・事業再開支援金	その他
	・商店街にぎわい振興補助金	ＰＲ
	・オープンテラス事業補助金	ＰＲ

ＰＲ事業を中心に
各事業レベルへの
支援が多い

即効性のある売上
確保策が多い

既存事業者支援においてもアフターコロナを見据えた
『戦略レベルの支援策』の検討が必要

TURNING POINT②

市内の産業構造の多様性

地域経済をより強くするためには、主力産業である観光のみでなく、
多様な企業の付加価値を向上させる支援策が必要。

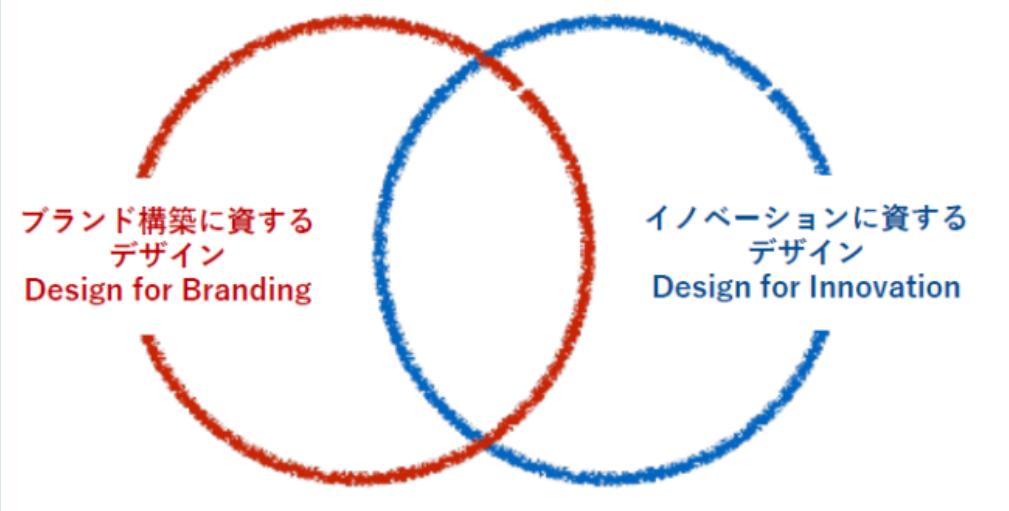
企業の付加価値を高めることで、価格への転嫁が可能となるため、
経営環境の変化に強くなり、また従業員の賃金アップに繋がる。

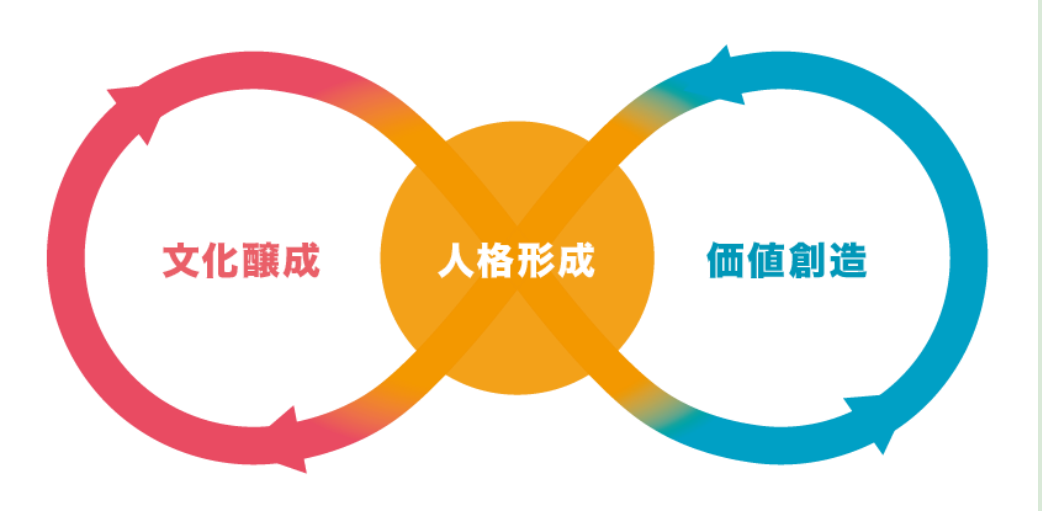
企業の他にはない価値を顧客に提供する、
ブランディングやイノベーションの創出に資する『デザイン経営』を
新施策として企画提案を行う。

デザイン経営とは

「デザイン経営」とは、デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法。国際的競争力を失った我が国企業の産業競争力を強化するため、特許庁が２０１８年に『「デザイン経営」宣言』を行う。

また、特許庁デザイン経営プロジェクトチームは、デザイン経営の考え方に基づいて、企業の取組の現状把握と未来に向けた取組の検討を支援する「デザイン経営コンパス」を２０２３年に公表。





SEMINAR R3

アフターコロナに対応。

ブランディングやイノベーションに資する経営手法

「デザイン経営」を採用

デザイン経営の周知・浸透のため

2022年3月16日「デザイン経営で再考する中小企業の経営戦略～自社の信念・伝統をカタチにする経営セミナー～」開催。

現地・オンライン合わせて167名の参加

PROGRAM

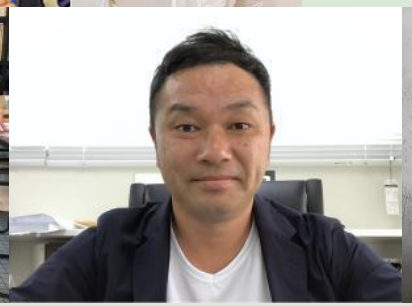
R4－R6

デザイン経営支援フロントランナー企業育成プログラム（R4・R5）

DesInsight 2024 ～奈良市デザイン経営プログラム～（R6）

6回のセッションを通じ、アイデンティティの抽出・アイデアの創出・アイデアの表現

という**3**段階を経て事業・経営計画を作成し、成果発表会で披露



PROGRAM

R4－R6

2023年3月9日開催

宝塚市×奈良市

デザイン経営成果発表会

- 地域から生まれる革新経営 -

2024年2月22日開催

宝塚市×奈良市×生駒市

関西３市合同

デザイン経営成果発表会

2025年2月25日開催

奈良市

DesInsight2024成果発表会

- デザイン経営で描く新たな可能性 -

ISSUE

R3－R6

デザイン経営支援における現状の課題

分析

・市内企業への波及効果、エコシステムの創出

・事業・経営計画の実行について

▼

関係機関（他自治体・商工関係諸団体・金融機関・デザイン経営専門家等）との連携が必要

ISSUE

R3－R6

課題解決に向けた奈良市の取組

・新たな挑戦支援補助金

市内企業の経営基盤・経営力の強化と地域イメージ・ブランドの向上のために新製品の開発または新サービスの提供に向けた取組を促進する支援制度

・中小企業支援事業資金【認定枠】

デザイン経営による支援事業等を修了した成長志向を持つ中小企業者が、新たな事業を加速的に実施できるよう、奈良市中小企業融資制度において【認定枠】を新たに設置。